

学科 学年	D3	科目 分類	数学A[数A] Mathematics A	講義 必修	通年 2履修 単位	学習教育 目標 B	担当	相原義弘 AIHARA Yoshihiro
概 要	2年次に学習した1変数の微分積分学の続きとして多変数の微分積分学について講義を行う。偏微分法と重積分について基本的な手法について講義する。計算力を特に重視する。							
科目目標 (到達目標)	1. 多変数関数の変化の解析に関する基礎的な手法を理解する。 2. 重積分の概念を理解しその計量的問題への応用が可能であるような計算力を涵養する。							
教科書 器材等	微分と積分II、同問題集（大日本図書）、高専の数学3問題集（森北出版）							
評価の基準と 方法	定期試験60%、レポートおよび授業中の課題を40%の割合で評価し60%以上をもって合格とする。							
関連科目	数学AI, AII, BI, BII							
授業計画								
	参観	(授業は原則として教員が自由に参加できますが、参観欄に×印がある回は参観できません。)						
第1回		2変数関数						
第2回		偏導関数						
第3回		説平面・全微分						
第4回		合成関数の微分・高次偏導関数						
第5回		演習						
第6回		演習						
第7回	×	前期中間試験						
第8回		テイラーの定理						
第9回		極大・極小						
第10回		陰関数の微分法						
第11回		条件付極値問題						
第12回		演習						
第13回		演習						
第14回		演習						
第15回	×	前期期末試験						
第16回		2重積分の定義						
第17回		2重積分の性質						
第18回		2重積分の計算法						
第19回		演習						
第20回		演習						
第21回		演習						
第22回	×	後期中間試験						
第23回		変数変換						
第24回		局座標変換						
第25回		演習						
第26回		広義積分						
第27回		重積分の応用						
第28回		演習						
第29回		演習						
第30回	×	後期期末試験						
オフィス アワー	水曜・木曜の4時から5時							
授業アンケート への対応	可能な限り具体的な例をあげ学習の動機付けを図る。							
備 考	出来るだけ多くの演習を行う							

更新履歷

2006112 新規